



首里城下町クリニック

最近の眼科のトピックス ～レーシックから 白内障手術まで～



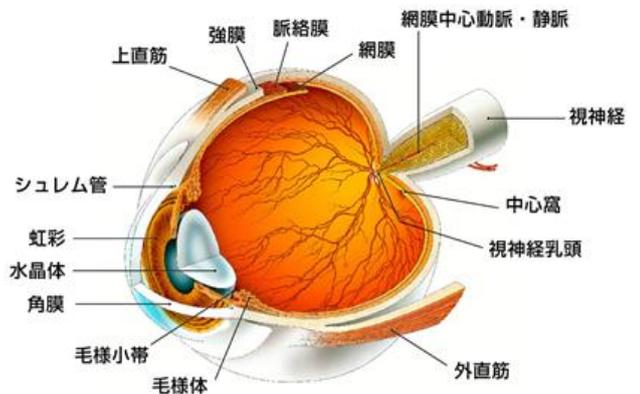
産業医 田名 毅
(首里城下町クリニック)

産業医だよりは、当院における地域むけ医療講演会の内容を抜粋してお伝えしています。今月は「最近の眼科のトピックス～レーシックから白内障手術まで～」というタイトルで、外間眼科医院崇元寺の外間 英之先生にご講演いただきました。視力が低下する原因として、近視のように網膜に焦点がうまく合わせられなくなるために起きる場合があります、これを専門的には屈折異常といいます。通常はメガネやコンタクトレンズを使って外部から矯正するわけですが、今回は角膜にレーザーを当てたり、眼内レンズや白内障の手術をすることによって矯正する方法についてお話いただきました。以下ご講演の一部をご紹介します。

1. 眼の構造と屈折異常について

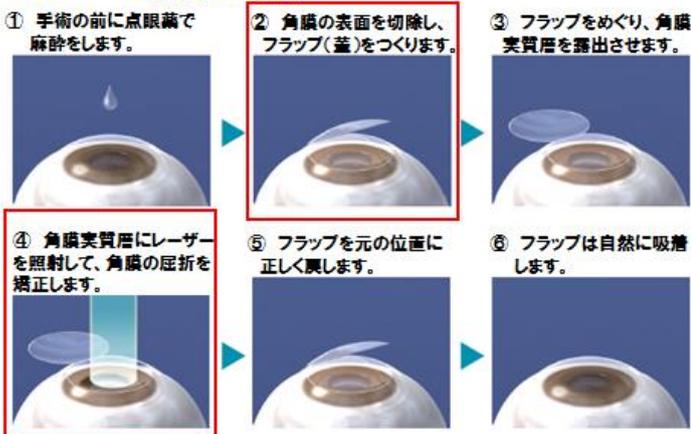
眼の一番外側には角膜があり、その下に水晶体があります。この間を通ってきた像の焦点をうまく、網膜の黄斑部に合わせることで人は物を見ることができます。屈折矯正手術は近視・遠視・乱視・老視という屈折異常を矯正する手術です。眼球の屈折力を持つ部分は角膜と水晶体なので、矯正する手術は角膜屈折矯正手術（レーシックなど）と眼内屈折矯正手術（水晶体内眼内レンズや白内障手術）に大別されます。

眼の構造



2. レーシックについて

LASIK・手術の手順



手術の手順④でレーザーを照射し、角膜のカーブの形状を調整することで、屈折の角度を変え網膜の一点上で焦点を結ぶように矯正します。

LASIK・見え方の質の改善

ウェーブフロントレーシック(Wavefront-guided LASIK)

眼組織に存在するわずかな歪み（高次収差）まで精密に測定し、高次収差の誘発を抑えつつ眼全体の収差を補正する、一人ひとりに合ったオリジナルの照射プログラムで照射する術式

メリット

- 眼鏡やコンタクトレンズでは矯正できない高次収差を矯正することにより、見え方の質が向上する。
- 夜間の見えづらさやまぶしさ、コントラストや鮮明さといった見え方の質にかかわる矯正まで可能となり、ハローグレアの合併症を起こしにくい。

デメリット

- 高次収差を矯正するためには、照射径(照射範囲)が大きくなるので切除深度が深くなる。それにより、角膜厚が足りないために適応外になるケースもある。※角膜厚にもよるが、軽度～中等度の度数矯正しかできない

LASIK・見え方の違い

一人ひとりの目に合わせた、カスタムメイドのレーシック手術により見え方の質を高める。

通常

判別はできるもののぼんやりとしか見えな視力1.2の見え方



ウェイブフロント

すべてがくっきりクリアな視力1.2の見え方



LASIKの問題点

- ・角膜知覚神経の切断によるドライアイ
 - ・角膜中心を切除するため術後視機能低下(特に夜)、術後度数の戻りなど矯正変化
 - ・角膜強度が減弱し角膜拡張症をおこす可能性
 - ・角膜厚による切除量や矯正量の限界
 - ・円錐角膜など角膜形状異常では適応外
- ⇒有水晶体内レンズが注目!

夜間のクリアな見え方も実現



正常な見え方



光がにじんで見えるハロ現象



光の周りがざらついて見えるグレア現象

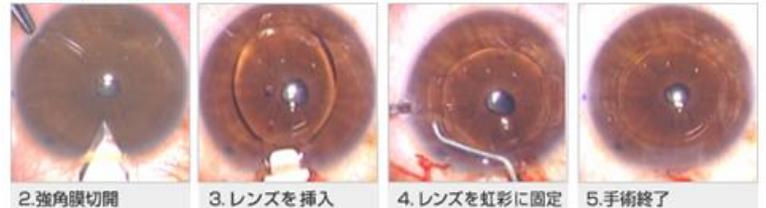


全体が二重に見えるゴースト現象

3. 有水晶体内レンズ手術

最近注目されているのが有水晶体内レンズです。これは角膜と水晶体の間にレンズをいれる方法で2種類あります。1つが虹彩支持型、もう1つが後房型です。レーシックはやり直しができませんが、この方法だと手術によりレンズを取り出し元に戻すことができるという利点があります。

有水晶体内レンズ手術・虹彩支持型手術の流れ



4. 白内障について

白内障の初期は無症状の場合が多いのですが、老視の進行や急な近視化などで気づくことがあります。混濁が眼の中心に近くなると、眩しい、かすむ、夜間のライトがにじむなどの症状を訴え進行すると視力障害をきたします。治療は、初期には白内障進行予防の点眼を行い、視力障害により不便を感じるようであれば手術を行います。



左端が正常な見え方で、白内障が進むほど右端のような見え方になります。手術術式は濁った水晶体を中で壊して吸い取ってしまい、新しいレンズを中に入れる方法です。これまでは単焦点眼内レンズしかなかったようですが、最近では「プレミアム白内障手術」と言っており、乱視矯正レンズ、多焦点レンズ、乱視矯正多焦点レンズなどその人の眼の状態によって、レンズを選んで入れる方法があるとのこと（残念ながら保険はききません）。乱視が矯正できるというのもすごいのですが、多焦点レンズを使えばその人が30cm先を見たいのか、40cm先を見たいのか、50cm先を見たいのかで度数の選択ができるようです。まさに、白内障の手術もテーラーメイド治療の時代になっているようです。

最後に、レーシック治療も一般的になってきているようですが、県内で手術できる施設はまだ3カ所しかありません。それぞれの医療機関でできる手技にも違いがあるようですので、レーシック治療を考えている際は実施している医療機関に直接相談の方がよいでしょう。白内障もレンズの選択で見え方が変わりそうですので、眼科医とよく相談して納得のいく治療を受けることをお勧めします。



第 161 回 首里城下町クリニック 『地域むけ医療講演会』

日 時: 平成 28 年 11 月 9 日(水) 19:00~20:30

テーマ: 帯状疱疹の痛み治療 ~早期対応の重要性~

おもろまちメディカルセンター
麻酔科部長 加治佐 淳一 先生

その他クリニックに関しては HP をご覧ください <http://www.shuri-jc.jp>

首里城下町クリニック 『働く人健康支援室』 は、



産業医・内科医
高血圧が専門です
田名 毅

ストレスチェックで 高ストレス者と判定された方
結果をご説明します。お気軽に面談を！

あなたの 相談窓口 です！



保健師・産業カウンセラー
認定産業看護師 田名彩子

相談窓口

産業医は、あなたの職場とそこで働く人々の心とからだの健康を支援します。

- ★訪問日を設けている事業所の職員は、お気軽に訪問日をご活用下さい。
- ★クリニック内の『働く人健康支援室』では健康相談を行っています。
事前にお電話の上、いらしてください。
- ★クリニック内で産業医との面談は診療の合間となりますが可能です。
事前にお電話くださり働く人健康支援室で“産業医との面談”とお声掛けください。診察や検査の必要がない限りは無料です。
- ★その他、電話やメール相談も随時行っています。

暫く
産休・育児休暇に
入ります！



保健師・産業カウンセラー
キャリアカウンセラー
與儀雅代



看護師・衛生管理者
糖尿病療養指導士 新垣朋子



認定産業看護師
山城愛子



連絡先

首里城下町クリニック 働く人健康支援室
098-885-5000
携帯 070-5814-0065 (由名彩子)
メール saiko@biscuit.ocn.ne.jp

プライバシーは守ります。
お気軽にご利用下さい！